

第3 「うみ」と「みなと」

(港 湾 課)

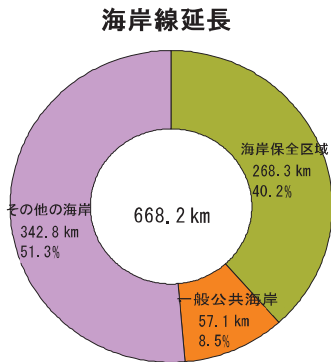
1 海岸

(1) 概要

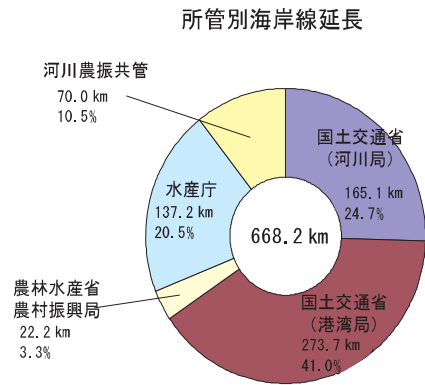
福岡県の海岸線延長は668kmに及び、このうちの257kmと二線堤30kmを合わせた287kmを海岸保全区域に指定して海岸事業を行っています。この海岸保全区域は3省庁（国土交通省河川局・港湾局、農水省農村振興局、水産庁）所管に分かれております。県土整備部としてはこのうち国土交通省河川局及び港湾局所管（博多港及び北九州港の港湾区域を除く）と一般公共海岸区域を管理しています。

海岸線延長

- ・福岡県の海岸線は港湾や漁港等を含め668km
- ・うち「海岸法」の対象となるのは海岸保全区域と一般公共海岸、延長は全体の49%程度
- ・海岸には様々な所管が存在する



(注) 二線堤の保全区域全長30.2 kmは含まない

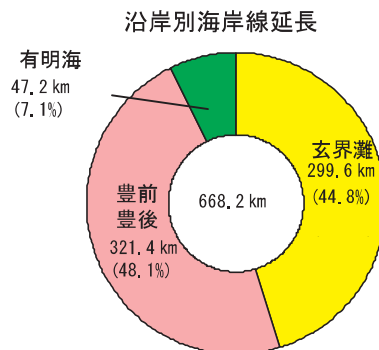
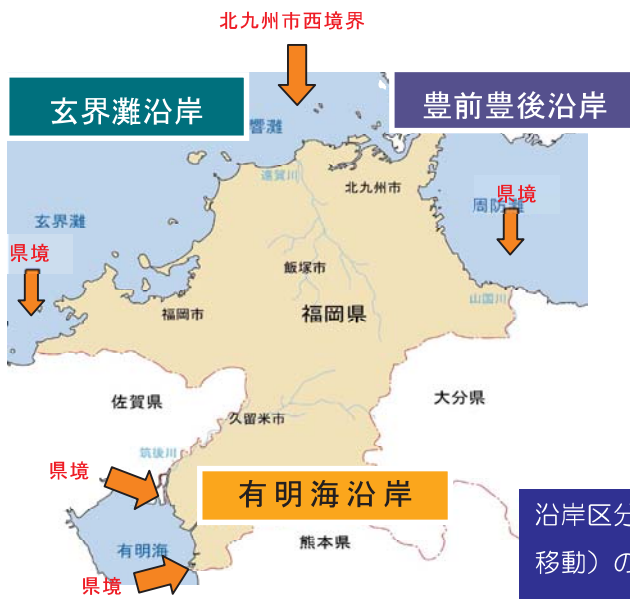


H22.3.31 現在

(海岸統計 H21 年度報告数値)

(2) 海岸の現況

福岡県の海岸は玄界灘、豊前豊後及び有明海の3つの沿岸に面しています。



沿岸区分は地形・海象面の類似性や沿岸漂砂（砂の移動）の連続性や都道府県境を考慮して定める

ア 玄界灘沿岸

遠賀郡芦屋町から佐賀県境の二丈町まで延びる沿岸であり、そのほとんどが玄海国立公園に指定され、白砂青松の美しい景観が続く海岸線をなしています。沿岸は、日本海からの冬期風浪が激しく、海岸侵食の進行箇所については、人工リーフや突堤により海浜の安定を図っています。



イ 豊前豊後沿岸

北九州市境の若松区から大分県境の吉富町まで延びる沿岸であり、昭和20年代の数々の大型台風の来襲により、海岸保全施設の大半が破堤しました。このため、災害復旧事業と高潮対策事業により施設が整備されましたが、数十年の波浪に耐えてきた施設の老朽化が進んでいるため、現在、補修に取り組んでいます。また、施設の計画天端高が不十分な区間については高潮対策による整備を進めています。



ウ 有明海沿岸

筑後川河口から大牟田市に至る沿岸であり、干満の潮位差が大きいのが特徴です。干潮時には沖合数キロメートルまで干潟が広がり、「ガタ土」と呼ばれる超軟弱土層の上でムツゴロウがとびはねています。また、この地では藩政時代から干拓が行われてきました。現在の堤防は、必要な天端高が不足しており、老朽化も進行しているため、高潮対策による整備を進めています。

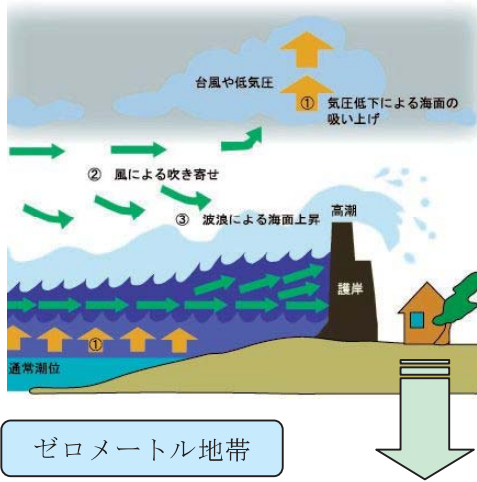


(3) 海岸の事業概要

ア 高潮対策事業

近年、1999年の台風18号や2004年の台風15、16、23号など、台風が大型化しており、また、海外でも2005年にハリケーン・カトリーナが壊滅的被害をもたらしました。福岡県は、台風の常襲地帯であり、特に有明海沿岸や豊前豊後沿岸は、湾口が南に面し高潮の発生しやすい地形となっています。また、背後地にはゼロメートル地帯(地盤高さが平均満潮位より低い土地)が広く存在し、人口や資産が集積しています。ゼロメートル地帯を防護している海岸堤防・護岸については、この被害を防止するために堤防や護岸の嵩上げや補強を行います。

高潮発生メカニズム



※気圧が1ヘクトパスカル低くなると、海面は約1センチメートル上昇します。



【事業中の海岸】



柳川海岸（柳川市）



大牟田港海岸（大牟田市）

※平成22年度完了



大和海岸（柳川市）

※平成21年度完了



白石海岸（苅田町）

イ 海岸環境整備事業

海岸の自然環境を保全し、レクリエーションその他活動の場としての利用増進を図る事業です。この事業では、人工リーフ、緩傾斜護岸、砂浜等の整備を行います。



鐘崎海岸人工リーフ（宗像市）

※平成20年度完了



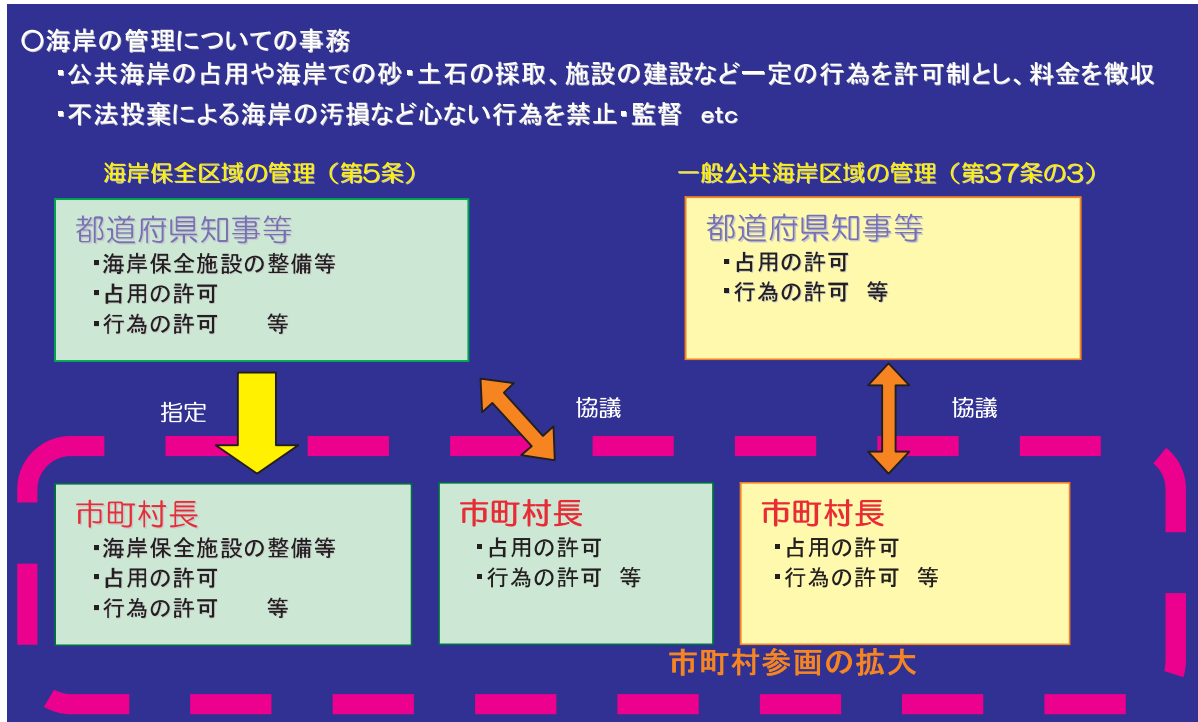
鐘崎海岸・復元した砂浜の利用状況

(4) 海岸の管理

福岡県の海岸管理の主な業務は次のとおりです。

- ア 海岸保全区域の指定・廃止
- イ 海岸管理者以外の者が行う海岸保全施設に関する工事の承認
- ウ 公共海岸の占用等許可（一般公共海岸区域を含む）
- エ 海岸工事の施工

そのほか、海岸保全台帳の整備等の海岸管理運營業務を行っています。



(5) 砂利採取許認可業務

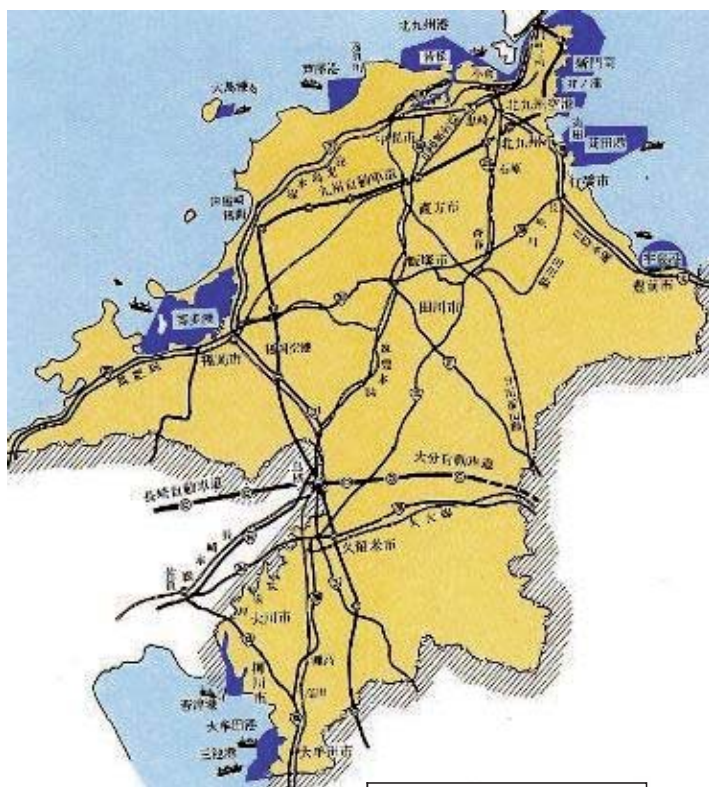
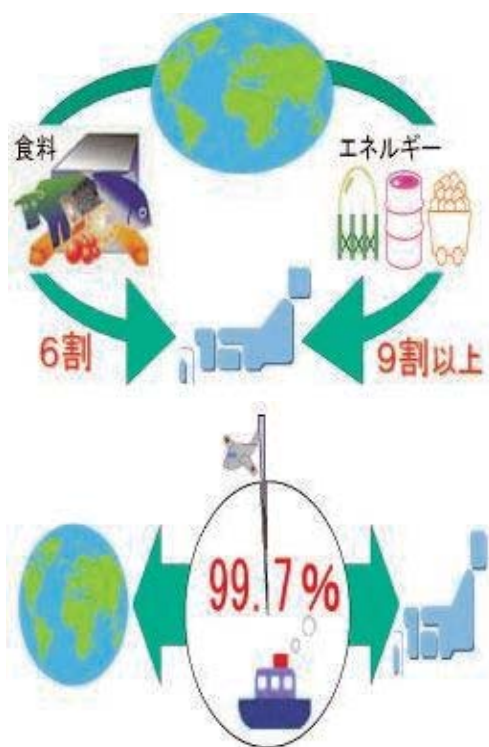
砂利採取法及び福岡県一般海域管理条例に基づき、一般海域等における土砂採取に係る認可事務を行っています。

2 港湾

(1) 概要

一度に大量の物資を運べ、輸送のコストを安くできる海上交通は、四方を海に囲まれるわが国では古くから利用されており、港湾はその拠点として、我々の生活に大きな役割を果たしながら発達してきました。私たちの暮らしは、エネルギー、食料、原材料など普段の生活に欠かせない物資によって支えられていますが、これらの大半は海外からの輸入に依存しています。近年の実績では、食料の6割、エネルギーの9割以上を海外に依存しています。航空貨物と比較して港湾を利用する海上貨物は日本の貿易量の99.7%、貿易額でも約7割のシェアを占めている状況です。このように港湾は、貿易立国である我が国の社会・経済を支える重要な役割を果たしています。海外のみならず国内の物資輸送についても、大量輸送を必要とするものなどは港湾に依存しています。

また、今日では緊急時の援助物資の輸送・交通の拠点、海上の廃棄物処分場の確保、親しみのあるウォーターフロント空間の創造等、港湾に求められる役割は多様化しています。



県内港湾位置

福岡県は、北を玄界灘と響灘、南を有明海、東を周防灘で囲まれ、国際拠点港湾2港、重要港湾2港、地方港湾5港があり、それぞれが地域の特色に応じた機能を発揮しております。国際拠点港湾2港については、北九州市、福岡市の両政令指定都市が港湾管理者となっており、福岡県が管理する港湾は重要港湾苅田港をはじめ7港あります。

平成12年12月に国がとりまとめた新世紀港湾ビジョン「暮らしを海と世界に結ぶみなとビジョン—国と地域のパートナーシップによるみなとづくり—」を踏まえて、

計画的な事業の実施を図ります。

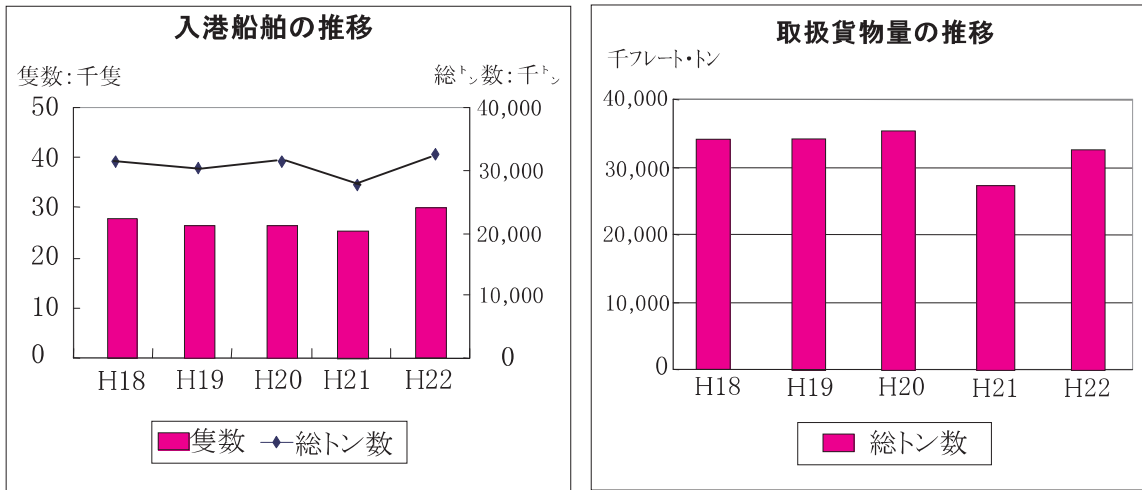
(2) 港湾利用状況

(i) 全国の港湾利用状況

平成20年 (単位:千トン)							平成21年(速報値) (単位:千TEU)				
順位	港湾名	総貨物量	輸出	輸入	内貿	内航フェリー	順位	港湾名	合計	輸出	輸入
1	名古屋	218,130	56,800	81,387	75,655	4,289	1	東京	3,383	1,552	1,830
2	千葉	165,143	12,161	84,124	68,858	0	2	横浜	2,555	1,379	1,176
3	横浜	141,764	46,898	44,767	50,099	0	3	名古屋	2,052	1,035	1,017
4	北九州	109,427	6,634	24,579	34,919	43,295	4	大阪	1,843	837	1,006
5	水島	103,149	11,028	51,608	40,514	0	5	神戸	1,773	946	827
6	苫小牧	102,294	1,036	18,010	26,129	57,118	6	博多	629	307	322
7	神戸	95,186	23,728	26,252	19,566	25,640	7	北九州	358	188	170
8	大阪	92,976	11,553	24,455	20,278	36,690	8	清水	325	172	153
9	川崎	92,739	8,420	53,922	30,398	0	9	苫小牧	165	76	89
10	東京	81,357	13,679	31,440	28,867	7,370	10	広島	157	89	67
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴					
26	荻田	32,897	6,273	1,628	24,996	0					
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴					
31	博多	31,131	5,617	9,373	14,138	2,004					

※TEU(Twenty-foot Equivalent Unit)…コンテナの本数を20フィート・コンテナに換算した場合の単位。

(ii) 県管理港湾の利用状況



※フレート・トン…運賃の算定基準となる貨物の重量又は容積の単位。貨物の数量表示には、重量建と容積建がある。これは、重量のあるものは船舶の喫水に、かさ高のものは積載容量にそれぞれ制限を与えるので、二つの表示方法を併用しており、運賃清算のもとになっている。1フレート・トンは容積で1.133立方メートル(40立方フィート)、重量は1,000キログラムを1トンとし、容積と重量のうちいずれか大きい数値(小数点以下第1位を四捨五入)。

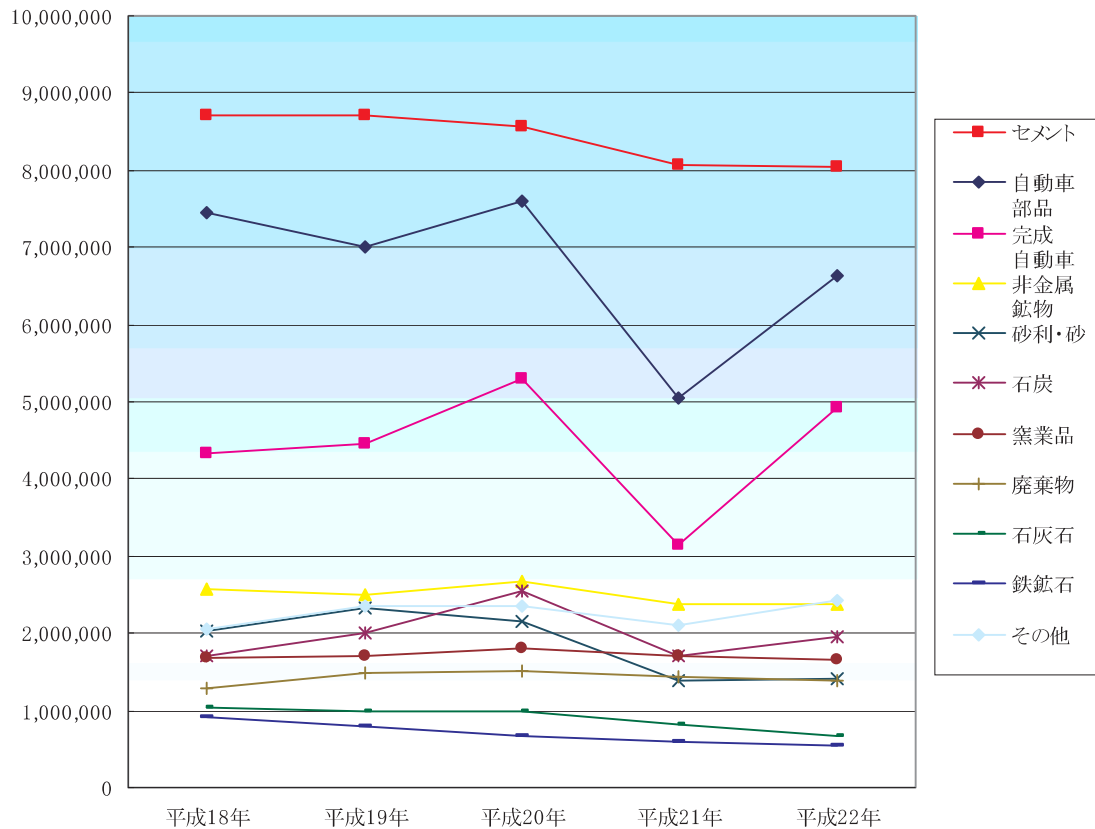
平成22年 県管理港湾取扱貨物量

(単位：フレート・トン)

港名	全体	外貨			内貨		
		小計	輸出	輸入	小計	移出	移入
福岡県全体	32,060,010	8,006,312	5,766,518	2,239,794	24,053,698	12,635,307	11,418,391
重要港湾	31,289,220	8,006,312	5,766,518	2,239,794	23,282,908	12,407,127	10,875,781
苅田港	29,283,809	7,061,007	5,670,028	1,390,979	22,222,802	12,244,887	9,977,915
三池港	2,005,411	945,305	96,490	848,815	1,060,106	162,240	897,866
地方港湾	770,790	0	0	0	770,790	228,180	542,610
宇島港	411,167	0	0	0	411,167	81,406	329,761
大島港	154,361	0	0	0	154,361	77,141	77,220
大牟田港	67,981	0	0	0	67,981	0	67,981
芦屋港	135,941	0	0	0	135,941	68,293	67,648
若津港	1,340	0	0	0	1,340	1,340	0

フレート・トン

県内海上出入貨物主要品目推移表



(3) 港湾現有施設概要

平成23年4月1日現在

港湾	管理種別	区域面積	けい留施設	荷さばき保管施設	その他
荻田港	福岡県 重要港湾	4,799 ha	岸壁 -13.0 m 1バース -10.0 m 7バース -7.5 m 7バース -6.5 m 1バース -5.5 m 6バース -4.5 m 15バース 物揚場 -4.0 m 150 m -3.0 m 781 m -2.0 m 394 m	上屋 2棟 5,788 m ² 貯木場(水面) 416,624 m ² 野積場 578,122 m ² 荷役機械 アンローダー 1基	港務通信施設 国際海上超短波無線電話(V. H. F) かんだポートラジオ 16チャンネル(呼出用) 12.14.20.22チャンネル(一般通信用)
三池港	福岡県 重要港湾	1,606 ha	岸壁 -10.0 m 2バース 物揚場 ±0.0 m 80 m	上屋 13棟 22,208 m ² (営) 倉庫 9棟 15,789 m ² (営) 野積場 35,450 m ² (営) ※備考(営): 一般使用可能 (専): 三井専用使用	
宇島港	福岡県 地方港湾	1,248 ha	岸壁 -7.5 m 1バース -5.5 m 1バース -4.5 m 6バース 物揚場 -3.0 m 348 m -0.5 m 100 m	上屋 2棟 2,824 m ² 野積場 82,441 m ²	
大島港	福岡県 地方港湾	157 ha	物揚場 -4.0 m 72 m -3.0 m 128 m		
大牟田港	福岡県 地方港湾	1,201 ha	物揚場 ±0.0 m 2,292 m	上屋 1棟 211 m ² 野積場 26,654 m ²	運動施設 ソフトボール場 1箇所(照明施設設置) 野球場 1箇所 運動広場 1箇所(照明施設設置) テニスコート 8面(照明施設設置) ゲートボール場 2面
芦屋港	福岡県 地方港湾	205 ha	岸壁 -5.5 m 1バース -4.5 m 4バース 物揚場 -3.0 m 312 m -2.0 m 130 m	上屋 1棟 1,895 m ² 野積場 57,935 m ²	
若津港	福岡県 地方港湾	392 ha	物揚場 -3.0 m 293 m -2.0 m 229 m -1.6 m 214 m ±0.0 m 85 m	上屋 1棟 839 m ² 野積場 2,786 m ²	

重要港湾: 国際海上輸送又は国内海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾
地方港湾: 重要港湾以外の港湾

(4) 各港湾の現況

ア 苅田港（重要港湾）

苅田港は福岡県の北東部に位置しており、北は北九州市、南は行橋市に接し、東は周防灘に面しています。

昭和13年筑豊炭の積出港として国の修築計画が決定され、昭和14年から内務省直轄工事として港湾の整備に着手しました。その後、昭和26年に重要港湾に指定され、翌27年に県が港湾管理者となりました。背後地には、九州電力、三菱マテリアル、麻生ラファージュセメント、宇部興産、日立金属、日産自動車、豊鋼材工業、九州ホール工業、クリオン九州工場、太平洋セメント、日本磁力選鉱等の企業が立地し、特に日産自動車は、北米・ヨーロッパを始め世界各国に輸出され、国際貿易港として躍進を続けています。また、平成16年12月には苅田港内の松山工業用地にトヨタ自動車九州が進出し、平成18年3月の新北九州空港開港や東九州自動車道（北九州JCT～苅田北九州空港IC）の開通とともに、苅田港の役割がますます大きくなるものと期待されています。

現在、平成9年7月の港湾審議会第163回計画部会の承認を経て改訂された港湾計画に基づき整備を進めています。



苅田港

完成自動車
輸出状況



イ 三池港（重要港湾）

三池港は明治35年、三井鉱山により整備に着手され、明治41年に開港しました。その後、三池炭の積出港として発展し、昭和26年に重要港湾に指定され、昭和46年に県が港湾管理者となり、平成10年5月から公共バスの供用を開始しています。また、背後地域におけるエコタウン事業など循環型経済社会への転換の取組を受けて、平成15年にリサイクルポートとして指定され、平成18年4月に釜山港との間に外貿コンテナ定期航路が週1便開設しました。また、平成22年度には公共埠頭の拡張等、港湾施設の整備を図ったことにより、外貿コンテナ定期航路が週2便になるなど、背後圏荷主企業にとって大幅に利便性が向上しました。

現在、平成11年11月の港湾審議会第170回計画部会の承認を経て新規策定された港湾計画に基づき、整備を進めています。



三池港

ウ 宇島港（地方港湾）

宇島港は周防灘に面し豊前市に位置しています。北九州市と大分市の中間にあって、古くから豊前海唯一の門戸として筑豊炭及び日田、玖珠の林産品の積み出し港として栄えてきました。

昭和28年地方港湾の指定を受けており、九州電力、機械金属等の企業が立地し、豊前地域の物流拠点となっています。



宇島港

エ 大島港（地方港湾）

大島港は、玄海灘の離島大島に位置し、古くから関門、博多間における小型船の避難港として利用されています。昭和27年に県が港湾管理者となり、昭和28年に地方港湾に指定されました。昭和56年7月からフェリーが就航しており、地域の発展のため大きく寄与しています。

大島の生活や産業において重要な役割を果たすとともに、離島の恵まれた自然環境を求める観光客来訪の玄関口としても重要な役割を担うようになってきました。

平成23年4月29日に地元住民と島外からの観光客との交流場である海洋体験施設「うみんぐ大島」がオープンし、地域経済の更なる活性化が期待されています。



大島港

オ 大牟田港（地方港湾）

大牟田港は大牟田川の河口港で、三池港の築造がなされるまでは三井鉱山(株)の石炭の積み出し港として栄えました。

昭和27年に県が港湾管理者となり、昭和28年に地方港湾に指定されました。公害防止対策と港湾整備により港湾の機能が増大し、鉱工業資材等の海上輸送の要港として利用されています。



大牟田港

カ 芦屋港（地方港湾）

芦屋港は、遠賀川の河口港で、往時は遠賀・筑豊地方を背後圏として米穀、石炭、その他農水産物の積み出し港として栄えました。

昭和50年に県が港湾管理者となり、地方港湾の指定を受け、港湾施設及び小型船対象施設の整備を進め、昭和61年11月に供用開始をしました。平成14年のなみかけ大橋の完成により、背後地域経済における建築資材、金属機械等の流通基地として、利便性が向上しています。



芦屋港

キ 若津港（地方港湾）

若津港は肥前、筑後の中央に位置する有明海に面した筑後川の河口港で、往時は筑後地方の農林産物、木工業の原材料等の集積地として繁栄しました。

昭和27年に県が港湾管理者となり、昭和28年に地方港湾に指定されました。



若津港

(5) 港湾の整備計画

昨今の社会・経済環境は国際的な相互依存関係の深化と競争の激化、安全で安心できる暮らしへの要求の強まりなど、大きな変化を遂げています。

このような内外の社会・経済環境の変化の中で、安定した県民生活と地域の活力を維持し、良好な生活環境の下で、安心して暮らせる地域社会を形成していくためには、港湾が経済基盤を支える根幹的な社会資本として、引き続きその役割を果たしていく必要があります。

現在は平成15年4月に施行の社会資本整備重点計画法等に基づき整備を行っています。

福岡県管理港湾における事業概要 (単位:千円)

事業名	H22当初(A)	H23当初(B)	B/A	H23事業予定箇所
港湾改修事業	218,100	601,000	2.76	苅田港、三池港
交付金事業	1,245,100	629,204	0.51	全港
補助事業計	1,463,200	1,230,204	0.84	
起債事業	910,000	920,600	1.01	苅田港、三池港
県単独事業	102,161	153,261	1.50	全港
国土交通省直轄事業	2,760,000	3,596,000	1.30	苅田港、三池港

(6) 港湾の管理

政令指定都市が管理する国際拠点港湾を除く、7港湾について県が管理しています。港湾法に基づき行う港湾区域及び港湾施設の維持管理及び適正な運営を図ることにより、港湾の発展及び振興を促進しています。

種別	港名	管理者
国際拠点港湾	北九州港、博多港	北九州市、福岡市
重要港湾	苅田港、三池港	福岡県
地方港湾	宇島港、大島港、大牟田港、 芦屋港、若津港	

※ 国際拠点港湾：国際戦略港湾以外の港湾であって、国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾

※ 重要港湾：国際戦略港湾及び国際拠点港湾以外の港湾であって、海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾

※ 地方港湾：国際戦略港湾及び国際拠点港湾及び重要港湾以外の港湾

ア 管理業務

港湾法、福岡県港湾施設管理条例等に基づき行う主な業務は次のとおりです。

維持管理	港湾施設の維持管理、港湾台帳の整備、港湾施設の認定申請 など
適正な運営	港湾施設の使用許可、港湾区域内等における占用許可 など
規制	港湾隣接地域の指定、臨港地区の指定、分区の指定 など

イ 港湾振興業務

(1) 松山工業用地(京都郡苅田町)の処分

自動車関連企業等の誘致による雇用創出及び経済効果が期待される松山工業用地の分譲及びリースに関する業務 (㎡)

総面積	分譲	リース	分譲+リース 合計面積	未処分面積
645,757	608,567	11,215	619,782	25,975
			(96%)	(4%)

(平成23年3月31日現在)

(2) ポートセールス活動

三池港の利用促進を図るため、マイポートみいけ利用促進協議会を設置し、荷主等へのポートセールス及び航路誘致活動等に取り組んでいます。

(3) 港湾サービス提供への取組み

苅田港及び三池港において、港湾EDIシステムの導入により、係船許可申請手続きの電子化を図っています。また、関門港及び周辺水域を航行する船舶に対し、国際海上VHF無線電話海岸局(ポータルラジオ)から港湾関連情報の提供を行うほか、AIS装置(船舶自動識別装置)に対応する通信設備の整備を行っています。

ウ 港湾保安対策等の業務

改正SOLAS条約(海上における人命の安全のための国際条約)の発効(H16.7.1)に伴い、「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」が制定され、県営港湾では、苅田港及び三池港において出入管理等の保安対策を実施しています。

また、改正船舶油濁損害賠償保障法の施行(H17.3.1)により、国際航海に従事する船舶(総トン数100トン以上)に船舶保険の加入が義務付けられたことから、国土交通省と連携して保険加入状況の確認など港湾の安全確保のための業務を行っています。

エ 公有水面埋立免許事務

公有水面埋立法に基づき県管理港湾の港湾区域及び一般海域における公有水面埋立での免許事務を行っています。

オ その他

1 港湾事業に関する漁業補償・争訴・港湾収支報告書の作成、公表

2 港湾統計調査

等の港湾の管理運営業務を行っています。